

関 係 各 位

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事
(公 印 省 略)

「新技術・新工法」等建設技術研修の受講申込について（通知）

当センターの研修業務につきましては、日頃、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このことについて、下記 1 のとおり受講申込受付を令和 3 年 8 月 3 日（火）から開始します。受講を希望される方は、当センターのホームページからお申込みください。

現在、本県西部地域に「新型コロナ特別警報」が発令されているほか、東部地域には「新型コロナ嚴重警戒宣言」が発令されるなど、嚴重な感染予防対策が求められていることから、センターでの受講は中止し、会社等での Web セミナー方式に限定して受講申込を受付します。引き続き、ご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、このほかの研修については、別紙 1 「令和 3 年度研修計画一覧表」のとおり計画しており、準備が整い次第、順次当センターのホームページに掲載するとともに、メールでお知らせします。

記

1 受講申込受付を開始する研修

研修名	対象者	開催日時	受講料	定員
【隔年】新技術・新工法	初級 中級	9 月 14 日(火) 13:00～16:00	3,300	100 人
橋梁点検と補修計画	中級 上級	9 月 17 日(金) 10:00～16:00	5,000	80 人
仮設工	初級 中級	9 月 29 日(水) 10:00～16:00	5,000	100 人
工事施工中の環境配慮	初級 中級	10 月 20 日(水) 10:00～16:00	5,000	100 人
土質・地質による工法選定	中級 上級	10 月 22 日(金) 10:00～16:00	5,000	80 人
技術者のための施工計画	初級 中級	10 月 26 日(火) 10:00～16:00	5,000	100 人
基礎から学ぶ土木工事積算	初級	10 月 28 日(木) 10:00～16:00	5,000	80 人
橋梁維持補修(鋼橋)	中級 上級	11 月 2 日(火) 10:00～16:00	5,000	60 人
受発注者のための品質確保	中級 上級	11 月 5 日(金) 10:00～16:00	5,000	100 人
事例から学ぶ災害対応(地震編)	初級 中級	11 月 9 日(火) 10:00～16:00	5,000	100 人
建設工事の入札制度	全員	11 月 11 日 (木) ①9:30～12:00 ②13:30～16:00	3,300	150 人

※研修の詳細は別紙 2 「受講申込受付を開始する研修一覧表」をご覧ください。

(参考) 受講対象者の目安

対象者	経験年数（目安）
新 人	5 年未満
初 級	5 ～ 1 0 年
中 級	1 0 ～ 2 0 年
上 級	2 0 年以上

2 受講申込について

- (1) ホームページの「研修受講申込エントリー」ページに、「会社で受講」の申込口を設けていますので、クリックして申込手続きを進めてください。
- (2) システムの改修により今回から申込方法の一部を変更しています。詳しくは別紙3「研修システムの改修について」をご覧ください。
- (3) 受付完了後、当センターから「受付確認メール」を送信します。
- (4) ホームページからの申し込みには「ログインID」及び「パスワード」が必要です。
分からない場合は総務研修課までお問い合わせください。
- (5) 受講申込は、研修開催の7営業日前までホームページで受け付けします。
- (6) 「研修受講申込エントリー」URL <https://www.tctcplaza.or.jp/front/seminars/index>

3 受付開始日時 令和3年8月3日（火） 10時～

4 Web セミナー方式について

研修はWeb セミナー方式とし、会社で受講していただきます。
詳細は別紙4「Web セミナー方式の研修について」をご覧ください。

5 受講料の引落について

- (1) 建設業、コンサルタントの職員の場合
研修開催日の3営業日前に事前登録いただいた口座から受講料を引落しさせていただきます。
- (2) 県、市町村、公社・事業団等の職員の場合
研修終了後、請求書を送付しますので振込みをお願いします。
- (3) キャンセル期限を研修開催日の7営業日前までとし、それまでにキャンセル手続きが行われていない場合、登録いただいた口座から受講料を引落しさせていただきます。

6 その他

県内感染拡大等の情勢変化に対応して、急遽研修の延期や中止を決定する場合があります。
その場合は、ホームページに掲載するとともに、申込者へはメールでお知らせします。

担当者
総務研修課 前田、藤井
電 話：0858-26-6065
ファクシミリ：0858-26-6052
Eメール：fujii-n@tctcplaza.or.jp

令和3年度研修計画一覧表

別紙 1

番号	研修名	開催日	時間	加 点 研 修	CPDS 研 修	建設コン サルCPD	建築士会 CPD	対象者	目的	研修科目及び主な内容	受講料 (円)	計画 人員 (人)
1	ゼロから始める現場管理	4月15日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	新人	建設業界の面白さや技術者が成長していくためのコツを解説し、新人技術者が現場で生き生きと活躍するための一助とする。	・現場の仕組みと仕事の流れ ・新人技術者の悩み ・新人技術者がまずやるべきこと ・建設業界の面白さ	5,000	50
2	新人技術者のためのビジネスマナー	4月16日	10:00 ～16:00 (5時間)	人権	○	○		新人	ビジネスマナーの習得を通して、職場内外のコミュニケーションスキルを磨き、仕事で必要な接遇力および、報相連における優先順位をつかむ	・組織の一員として働くことの意味 ・社会人としてのビジネスマナー ・報連相について ・指示の受け方、伝え方 など	5,000	50
3	新人技術者のための施工技術基礎	4月22日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		新人	建設工事の代表的な工種である土工及びコンクリート工の施工上の留意点などを学び、新人技術者に必要となる基礎知識を学ぶ。	・様々な建設現場の紹介 ・若手技術社員の役割 ・土工の基本事項 ・コンクリート工事の基本事項	5,000	40
4	丁張り実習	4月27日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○			新人	公共工事の流れや丁張りについて、講義と実習を行い、建築工事や土木工事の現場で必要となる基礎知識を習得する。	・公共工事の流れ ・丁張りの基本事項 ・丁張り実習	5,000	20
5	新人技術者のための公共工事基礎(2日間)	5月12日 ～5月13日	10:00 ～16:00 (10時間)	技術	○	○		新人	公共工事の仕組みや建設業法、施工管理等に関する基礎知識に加え建設業の魅力や今後の方向性についても解説し、新人技術者が現場で生き生きと活躍するための一助とする。	・新人技術者に伝えたいこと ・建設業の未来～変わる、変える～ ・公共工事のしくみ ・現場監督のしごと(施工管理等) ・関係法令について	10,000	50
6	土質の基礎(2日間)	5月20日 ～5月21日	10:00 ～16:00 (10時間)	技術	○	○	○	新人 初級	土の基本的な性質、調査・試験方法、土の圧密・強さなど、新人技術者に必要となる土質力学の基礎を学ぶ。	・土の分類と性質・地盤の強度 ・軟弱地盤の挙動(液状化・圧密・支持力) ・法面の力学(切土、盛土)、土留(土圧)	10,000	70
7	メンタルヘルス	5月18日 5月26日	13:00 ～16:00 (3時間)	人権	○	○		全員	イキイキとやりがいをもって働くため、メンタルヘルスについて理解し、心身ともに良好な職場づくりにつなげる。	・メンタルヘルスに関する基礎知識 ・うつ病のこと ・睡眠の大切さ ・ストレスへの対処法	3,300	160
8	現場で役立つ水理学	6月3日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		新人	水理学の基礎を学び、新人技術者として必要な知識・技術を身につける。	・水理学の基礎 ・水の性質及び次元・静水圧、水の運動 ・開水路、管水路	5,000	40
9	激甚化する豪雨災害への対応	6月8日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	豪雨災害の特徴や、平成30年7月豪雨等の事例を紹介し、近年激甚化している豪雨災害に対応できる技術者の育成を目指す。	・豪雨災害の現状 ・降雨のメカニズムと豪雨災害の特徴 ・災害事例事例 ・復旧工法、新技術の紹介	5,000	100
10	やさしい構造力学(2日間)	6月10日 ～6月11日	10:00 ～16:00 (10時間)	技術	○	○	○	新人 初級	擁壁等の構造物の設計の考え方や施工上必要となる基礎的な構造計算の方法など、新人技術者に必要となる構造力学の基礎を学ぶ。	・基礎理論の概説(用語の習得) ・土木設計業務と構造力学との関係 ・断面計算、応力計算	10,000	70
11	コミュニケーション	6月15日	9:30 ～12:00 13:30 ～16:00 (各2.5時間)	人権	○	○		中級 上級	上司・先輩としての役割を理解するとともに、部下・後輩とのコミュニケーションの手法を学び、風通しの良い職場づくりに繋げる。	【部下・後輩とのコミュニケーション】 ・上司・先輩に求められること ・部下との常識や価値観の違い ・褒め方・叱り方 ・部下・後輩とのコミュニケーション手法	3,300	160
12	現場管理スキルアップ	6月23日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		初級 中級	工程管理・品質管理・安全管理・環境管理・原価管理といった現場のマネジメントの必要性や、現場代理人等に求められるスキルについてを学び、円滑な現場管理につなげる。	・監理技術者・現場代理人に必要なスキル ・現場を把握するためのスキル	5,000	100
13	【新規】トラブル事例から学ぶ擁壁設計	6月30日	10:00 ～16:00 (5時間)		○	○		中級 上級	講師が現場で経験してきた擁壁設計に関するトラブル事例を題材に、設計時の留意点や技術者としての心構えを学ぶ。	【建設コンサルタント向けの研修です。】 ・技術者としての心構え ・調査設計時の留意点や着眼点	5,000	80
14	事例から学ぶ現場の安全管理	7月2日 7月7日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	建設工事における事故事例や、企業や現場での効果的な取組みから安全管理に関する理解を深め、建設現場での労働災害の減少につなげる。	・労働災害の現状 ・労働災害統計の考察 ・転倒リスクとヒヤリ・ハット ・リスクアセスメントの手法 ・災害事例	5,000	200
15	建築工事の安全管理	7月13日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	建築工事における安全対策に関する基本的な知識を修得し、建築現場での労働災害の減少につなげる。	・建設業における労働災害発生状況 ・建設業における労働災害防止上の課題 ・労働災害発生時のしくみと発生時の対応 ・労働災害と企業の責任 等	5,000	80
16	軟弱地盤対策	7月16日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	施工時に必要となる軟弱地盤の特性や軟弱地盤対策工法の理論・メカニズムを理解し、技術力の向上につなげる。	・軟弱地盤の調査 ・軟弱地盤対策工法事例 ・施工上の留意点、安全対策 ・軟弱地盤・液状化対策の最新動向・新技術	5,000	80
17	土木施工管理(共通編)	7月27日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		初級 中級	土木施工管理に関する基礎的な知識や工事検査のポイントや留意点について学び、適切な施工管理を行うための技術や知識を身につける。	・工程管理、品質管理、安全管理、環境管理 ・工事検査のポイント、工事検査の指摘事項	5,000	80
18	【新規】建築工事の積算演習	7月28日	13:00 ～16:00 (3時間)	技術	○	○	○	初級 中級	建築数量積算基準の解説及び積算演習を通じて、積算実務について理解を深める。	建築数量積算基準の解説 ・計測・計算の演習及び内訳書の作成 ・内外装、土工、地業、躯体(鉄筋コンクリート造)	3,300	30
19	人権に関する講習会	8月2日 8月4日	13:30 ～16:00 (2.5時間)	人権	○	○		全員	人権尊重のための知識を学び、差別がなく、働きやすい職場づくりにつなげる。	・新型コロナウイルス感染症から見てくる偏見や差別について	3,300	180
20	【新規】現場技術者のための安全衛生管理	8月19日 8月27日	13:00 ～16:00 (3時間)	技術	○	○	○	初級 中級	安全衛生管理の基本である、労働安全衛生法・規則についての理解を深め、安全な円滑な現場の管理につなげる。	・労働安全衛生法・規則の概要と最近の動向 ・現場の安全衛生と法的責任の関係 ・安全衛生法違反による労働災害事例 ・現場の安全衛生管理 (新型コロナウイルス・熱中症対策等を含む)	3,300	160
21	現場の原価管理	8月24日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		初級 中級	受注工事の原価管理について、施工計画、工程表、実行予算等の作成演習を通して実践的な知識の習得を図る。	・設計書、図面から施工方法の検討 ・施工計画、工程表の作成(演習) ・予算書の作成(演習) ・出来高調書の作成と最終利益予測(演習)	5,000	100
22	斜面災害の発生原因と対策	8月25日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	豪雨災害や地震による土砂災害等が発生している中、大規模災害の要因と調査設計の留意点について学び、技術者としての資質の向上を図る。	・斜面防災の状況と斜面災害の現状 ・斜面災害の事例とその対応 (切土、盛土、自然斜面、土石流) ・予防保全と点検	5,000	100
23	道路構造物の維持管理	8月31日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		中級 上級	道路構造物(舗装、道路付属物、トンネル)の維持管理のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、技術力の向上を図る。	・構造物の維持管理について ・舗装、道路付属物、トンネルについて	5,000	90

令和3年度研修計画一覧表

別紙 1

番号	研修名	開催日	時間	加 点 研 修	CPDS 研 修	建設コン サルCPD	建築士会 CPD	対象者	目的	研修科目及び主な内容	受講料 (円)	計画 人員 (人)
24	建築工事の品質管理	9月7日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	建築工事に関する品質管理について、品質管理のポイントや留意点等を解説し、技術の向上を図る。	・建築工事における品質管理 ・躯体工事の品質管理 ・仕上げ工事の品質管理 ・設備関連工事の品質管理 ・品質管理トピック	5,000	50
25	【隔年】新技術・新工法	9月14日	13:00 ～16:00 (3時間)	技術	○	○	○	初級 中級	NETIS(新技術情報提供システム)や鳥取県が運用する新技術・新工法活用システムに登録された新技術等を紹介することにより、新技術等の公共工事での活用拡大につなげる。	・新技術・新工法活用システムの概要 ・新技術、新工法及び活用事例の紹介	3,300	100
26	橋梁点検と補修計画	9月17日	10:00 ～16:00 (5時間)		○	○		中級 上級	行政職員及び建設コンサルタント職員を対象に、橋梁点検及び補修計画の策定を行う際の留意点等を解説し、点検・診断に関する技術力向上を図る。	・鳥取県橋りょう定期点検マニュアルについて ・劣化・損傷原因究明のための詳細調査 ・点検時の留意点 ・工法選定の考え方と設計事例 ※行政職員、コンサルタント向き	5000	80
27	仮設工	9月29日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	工事の施工に必要な土留、型枠、支保工、仮締切等の設計・施工について事例を基に学び、仮設構造物の重要性を理解し、工事の安全かつ円滑な施工につなげる。	・仮設構造物の概要 ・土留・仮締切の設計 ・施工・失敗事例紹介	5,000	100
28	工事施工中の環境配慮	10月20日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	環境に関する法令や、環境影響評価、動植物への配慮等について理解を深め、環境に配慮した工事施工につなげる。	・環境影響評価に基づく事後調査 ・環境に関する法令と具体的な対応方法 ・動植物への対応方法	5,000	100
29	土質・地質による工法選定	10月22日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	土質及び地質に関する基礎的な事項を確認するとともに土質・地質・地盤による工法選定方法に係る専門的な知識を学び、技術力の向上を図る。	・土質、地質の違い ・各種工事と土質・地質・地盤による工法選定 ・補強土壁工法、すべり面における対策と工法 ・軟弱地盤による道路、河川浚渫工法	5,000	80
30	技術者のための施工計画	10月26日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		初級 中級	施工計画に関する基礎的な知識を学び、現場に応じた施工計画の立案や適切な施工管理を行うための技術を身に付ける。	・施工計画書と工程管理 ・施工計画の基本と事例 ・施工計画の作成・運用・管理	5,000	100
31	基礎から学ぶ土木工事積算	10月28日	10:00 ～16:00 (5時間)		○	○		初級	土木工事積算の最近の動向や積算に関する基礎的な内容を学び、工事積算業務について理解を深める	・土木工事積算とは ・積算基準、歩掛の構成、機械損料等 ・積算演習	5,000	80
32	橋梁維持補修(鋼橋)	11月2日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		中級 上級	橋梁の老朽化が急速に進む中、橋梁(鋼橋)の維持・補修のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、維持・補修に関する技術力向上を図る。	・橋梁維持補修の現状 ・一般鋼橋の維持・補修 ・耐荷重橋梁の維持・補修 ・新技術の紹介	5,000	60
33	受発注者のための品質確保	11月5日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	共事業を実施する上で必要となる知識や注意事項を受発注者間で共有し、共同で公共事業の品質を確保するために配慮すべき事項を学ぶ。	・公共工事の品質確保に関する最近の動向 ・最近の会計検査指摘事項と失敗事例 ・労災事例から学ぶ注意事項 ・成果品の照査等について	5,000	100
34	事例から学ぶ災害対応(地震編)	11月9日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	大阪、北海道地震の被害状況や対応から見えてきた課題と将来予想される大規模災害に向けての備えについて解説し、地震災害に対応できる技術者の育成を目指す。	・最近の地震災害 (災害の概要、被害状況) ・発災直後の災害対応 ・将来の大規模災害に向けた備え	5000	100
35	建設工事の入札制度	11月11日	9:30 ～12:00 13:30 ～16:00 (各2.5時間)	技術	○			全員	鳥取県の入札制度(工事)の概要と入札業務に必要な知識を学び、公共工事及び契約の適正化に繋げる。	【主に土木系の内容です。】 ・鳥取県の入札契約制度(土木系)について	3,300	150
36	【新規】建設業におけるICT活用	10月調整中	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	最新技術に関する情報や、ICT活用事例の紹介を通じ、ICT活用についての理解を深め、建設現場や会社における生産性向上につなげる。	・鳥取県におけるICT活用の取組み ・建設業のデジタル化などIT活用の最新動向 ・ICTを活用した生産性向上 ・3次元設計データの作成と活用 ・建設業におけるICT活用の取組事例	5,000	100
37	経営管理Ⅰ	10月調整中	13:30 ～16:00 (2.5時間)	経営	○	○		経営者	人手不足や働き方改革へ対応するため、建設産業でもデジタル化やICT活用がすすまれていることから、その最新の動向や対応方法を解説し、建設会社等の生産性向上につなげる。	・デジタルトランスフォーメーション(DX)の概要 ・DXの必要性と今後の動向 ・具体的な対応方法について	4,100	200
38	【新規】建設業における働き方改革	10月調整中	13:00 ～16:00 (3時間)	技術	○	○	○	初級 中級	令和元年6月に成立した新・担い手3法を踏まえ、建設現場での生産性向上や働き方改革について、その現状や取組事例について解説する。	・新・担い手3法の概要 ・「建設業働き方改革促進プログラム」について ・建設現場における生産性向上について ・取組事例紹介	3,300	60
39	【新規】コンクリート標準示方書に関する講習会	11月調整中	10:00 ～16:00 (5時間)		○	○		中級 上級	コンクリート標準示方書(維持管理編)について学び、コンクリート構造物の点検や補修・補強の設計に係る専門的な知識を習得することにより技術力の向上を図る。	・示方書(維持管理編)の概要 ・2018年改正の解説 ・補修・補強時の留意点 ・設計事例等紹介	5,000	80
40	コンクリート構造物ひび割れ補修	11月調整中	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	ひび割れの発生原因や補修における対策・留意点等、コンクリート構造物のひび割れ補修に関する専門的な知識と技術を学び、技術力の向上を図る。	・ひび割れの診断事例 ・初期ひび割れの抑制対策 ・ひび割れの発生原因とひび割れの補修 ・ひび割れ補修における対策・留意点	5000	100
41	経営管理Ⅱ	11月調整中	13:30 ～16:00 (2.5時間)	経営	○	○		経営者	若手技術者にとって魅力ある会社となり、人材確保・定着をすすめるためには、何をすればよいのか、独自の取組みで多くの新卒採用や業績アップに成功している会社社長の講演を通じてそのヒントを得る。	先進的な取り組みを行って成果を挙げている会社の社長	4,100	100
42	橋梁維持補修(PC橋)	11月調整中	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		中級 上級	橋梁の老朽化が急速に進む中、橋梁(PC橋)の維持・補修のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、維持・補修に関する技術力向上を図る。	・橋梁維持補修の現状 ・補修・補強工法の紹介 ・施工上の留意点 ・補修・補強工事事例の紹介 ・新技術	5,000	60
43	電気・機械設備の品質管理	11月調整中	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	電気・機械設備工事に関する品質管理のポイントや留意点等を解説し、技術の向上を図る。	・品質管理の計画について ・各設備工事での留意点について ・品質管理上の不適切事例 ・品質管理トピック	5,000	50
44	河川構造物の維持管理	11月調整中	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		中級 上級	豪雨災害の頻発化や施設の老朽化が進んでいる状況に対応するため、堤防や河道等の維持管理について解説を行う。	・河川概論 ・河川構造物の維持管理 (堤防、河道等の維持管理)	5,000	60
				40	44	42	15					4,000

※調整中の研修については、開催時期・研修内容が変更になる場合があります。

※受講対象者の目安(経験年数)

新人:5年未満 初級:5～10年 中級:10～20年 上級:20年以上

令和3年度研修計画一覧表(8月3日募集開始分・Web研修)

別紙 2

研修名	開催日	時間	加 点 研 修	CPDS 研 修	建設 コン サル CPD	建築 士会 CPD	対象者	目的	研修科目及び主な内容	受講料 (円)	講師
【隔年】新技術・新工法	9月14日	13:00 ～16:00 (3時間)	技術	○	○	○	初級 中級	NETIS(新技術情報提供システム)や鳥取県が運用する新技術・新工法活用システムに登録された新技術等を紹介することにより、新技術等の公共工事での活用拡大につなげる。	・新技術・新工法活用システムの概要 ・新技術、新工法及び活用事例の紹介	3,300	鳥取県県土整備部技術企画課 新技術等登録企業
橋梁点検と補修計画	9月17日	10:00 ～16:00 (5時間)		○	○		中級 上級	行政職員及び建設コンサルタント職員を対象に、橋梁点検及び補修計画の策定を行う際の留意点等を解説し、点検・診断に関する技術力向上を図る。	・鳥取県橋りょう定期点検マニュアルについて ・劣化・損傷原因究明のための詳細調査 ・点検時の留意点 ・工法選定の考え方と設計事例 ※行政職員、コンサルタント向き	5,000	鳥取県県土整備部道路企画課 (株)片平新日本技研中国支店 支店長 高 龍
仮設工	9月29日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	工事の施工に必要な土留、型枠、支保工、仮締切等の設計・施工について事例を基に学び、仮設構造物の重要性を理解し、工事の安全かつ円滑な施工につなげる。	・仮設構造物の概要 ・土留・仮締切の設計 ・施工・失敗事例紹介	5,000	株式会社DOSUCO技術士事務所 代表取締役 松谷 孝広
工事施工中の環境配慮	10月20日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	環境に関する法令や、環境影響評価、動植物への配慮等について理解を深め、環境に配慮した工事施工につなげる。	・環境影響評価に基づく事後調査 ・環境に関する法令と具体的な対応方法 ・動植物への対応方法	5,000	株式会社長大 環境・エネルギー事業部 中村 亮
土質・地質による工法選定	10月22日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	土質及び地質に関する基礎的な事項を確認するとともに土質・地質・地盤による工法選定方法に係る専門的な知識を学び、技術力の向上を図る。	・土質、地質の違い ・各種工事と土質・地質・地盤による工法選定 補強土壁工法、すべり面における対策と工法 軟弱地盤による道路、河川浚渫工法	5,000	鳥取大学名誉教授 藤村 尚 (株)藤井基礎設計事務所 藤井 俊逸
技術者のための施工計画	10月26日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		初級 中級	施工計画に関する基礎的知識を学び、現場に応じた施工計画の立案や適切な施工管理を行うための技術を身につける。	・施工計画書と工程管理 ・施工計画の基本と事例 ・施工計画の作成・運用・管理	5,000	株式会社DOSUCO技術士事務所 代表取締役 松谷 孝広
基礎から学ぶ土木工事積算	10月28日	10:00 ～16:00 (5時間)		○	○		初級	土木工事積算の最近の動向や積算に関する基礎的な内容を学び、工事積算実務について理解を深める	・土木工事積算とは ・積算基準、歩掛の構成、機械損料等 ・積算演習	5,000	鳥取県県土整備部技術企画課
橋梁維持補修(鋼橋)	11月2日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○		中級 上級	橋梁の老朽化が急速に進む中、橋梁(鋼橋)の維持・補修のポイントや留意点について専門的な知識と技術を学び、維持・補修に関する技術力向上を図る。	・橋梁維持補修の現状 ・一般鋼橋の維持・補修 ・耐候性橋梁の維持・補修 ・新技術の紹介	5,000	(一社)日本橋梁建設協会
受発注者のための品質確保	11月5日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	中級 上級	共事業を実施する上で必要となる知識や注意事項を受発注者間で共有し、共同で公共事業の品質を確保するために配慮すべき事項を学ぶ。	・公共工事の品質確保に関する最近の動向 ・最近の会計検査指摘事項と失敗事例 ・労災事例から学ぶ注意事項 ・成果品の照査等について	5,000	鳥取県県土整備部技術企画課
事例から学ぶ災害対応(地震編)	11月9日	10:00 ～16:00 (5時間)	技術	○	○	○	初級 中級	大阪、北海道地震の被害状況や対応から見えてきた課題と将来予想される大規模災害に向けての備えについて解説し、地震災害に対応できる技術者の育成を目指す。	・最近の地震災害 (災害の概要、被害状況) ・発災直後の災害対応 ・将来の大規模災害に向けた備え	5,000	株式会社インフラ・ラボ 代表取締役 松永 昭吾
建設工事の入札制度	11月11日	9:30 ～12:00 13:30 ～16:00 (各2.5時間)	技術	○			全員	鳥取県の入札制度(工事)の概要と入札実務に必要な知識を学び、公共工事及び契約の適正化に繋げる。	【主に土木系の内容です。】 ・鳥取県の入札契約制度(土木系)について	3,300	鳥取県県土整備部県土総務課

受講対象者の目安(経験年数)

新人:5年未満 初級:5～10年 中級:10～20年 上級:20年以上

別紙3 研修システムの改修について

Webセミナー等に対応するため、研修システムを改修しました。改修に伴う変更点は以下のとおりです。

令和3年9月14日以降に開催する研修の受講申込から改修後の機能を適用します。

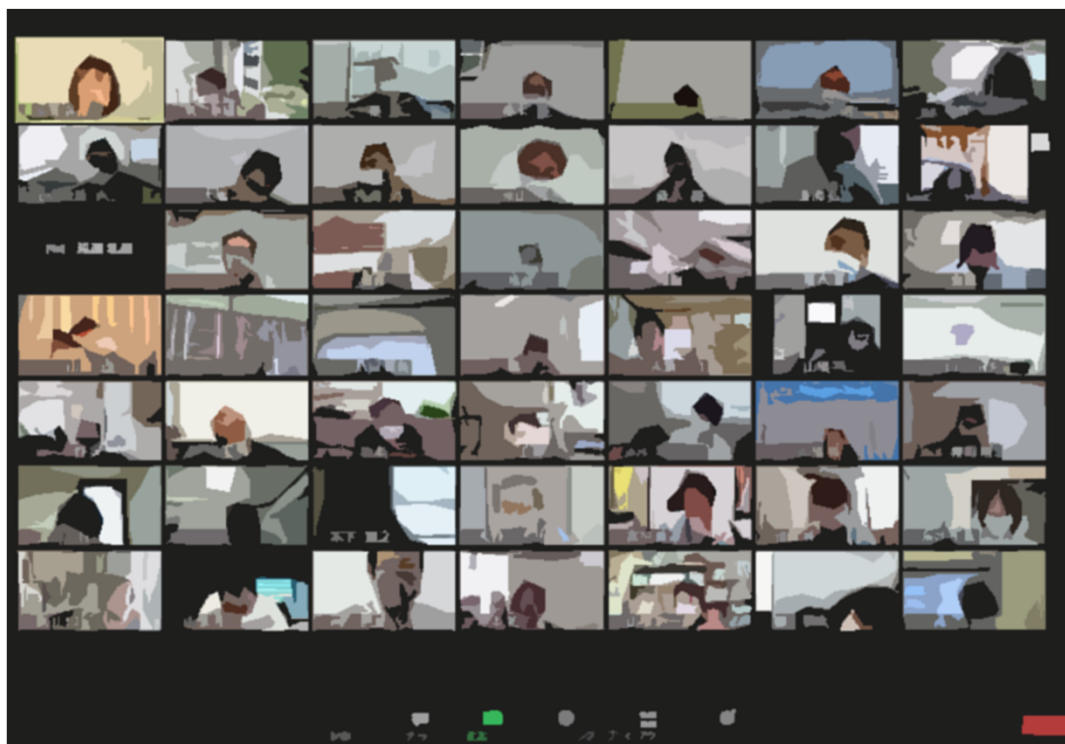
《変更点》・・・会社で受講する場合の変更です。

1 本人確認証明書のアップロード機能の追加

これまでメールで送っていただいていた本人確認証明書を、申込時にホームページ上でアップロードできるようにしました。

2 受講申込時の入力項目の追加

受講申込時に年齢、経験年数等を入力していただくことにしました。



受講申込の手順《会社で受講する場合》

1 準備していただくもの

①受講者の氏名、年齢、現場経験年数

②本人確認証明書のデータ（PDF）

**※事前に申込者全員の証明書のデータをPDFで
ご準備ください。**

学習履歴 の登録	用意するデータ（PDF）	備 考
CPDS	CPDS技術者証	
建築士会	建築士会CPDカード 及び写真付証明書	1つのファイルにま とめてください。
建築・設備 施工管理CPD	建築・設備施工管理CPD カード及び写真付証明書	建築士会へ代行申請 します。1つのファ イルにまとめてくだ さい。
上記以外	写真付証明書 （免許証、社員証等）	

【本人確認証明書の区分】

①CPDSの学習履歴の登録を希望される場合

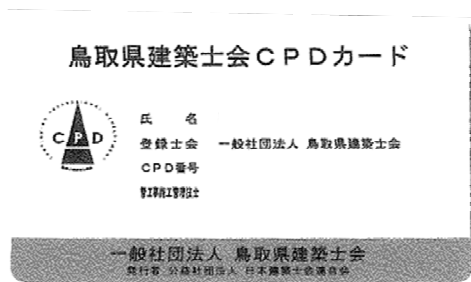
(センターから全国土木施工管理技士会連合会へ登録申請します。)



CPDS技術者証

②建築士会CPDの学習履歴の登録を希望される場合

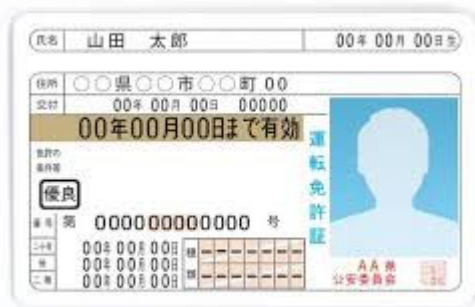
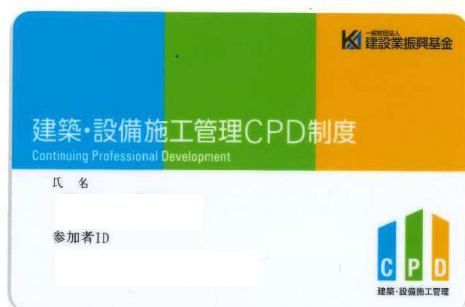
(センターから鳥取県建築士会へ登録申請します。)



建築士会CPDカード及び写真付証明書

③建築・設備施工管理CPDの学習履歴の登録を希望される場合

(センターから鳥取県建築士会へ登録申請します。)



建築・設備施工管理CPDカード及び写真付証明書

④上記以外の場合

写真付の証明書 (免許証、職員証等)

2 申込の手順

(1) センターのホームページにアクセスする。

<https://www.tctcplaza.or.jp/>

(2) 研修→研修受講申込をクリックする。



(3) 申込したい研修の「申込」ボタンをクリックする。

研修受講申込エントリー

研修名 対象職種 レベル

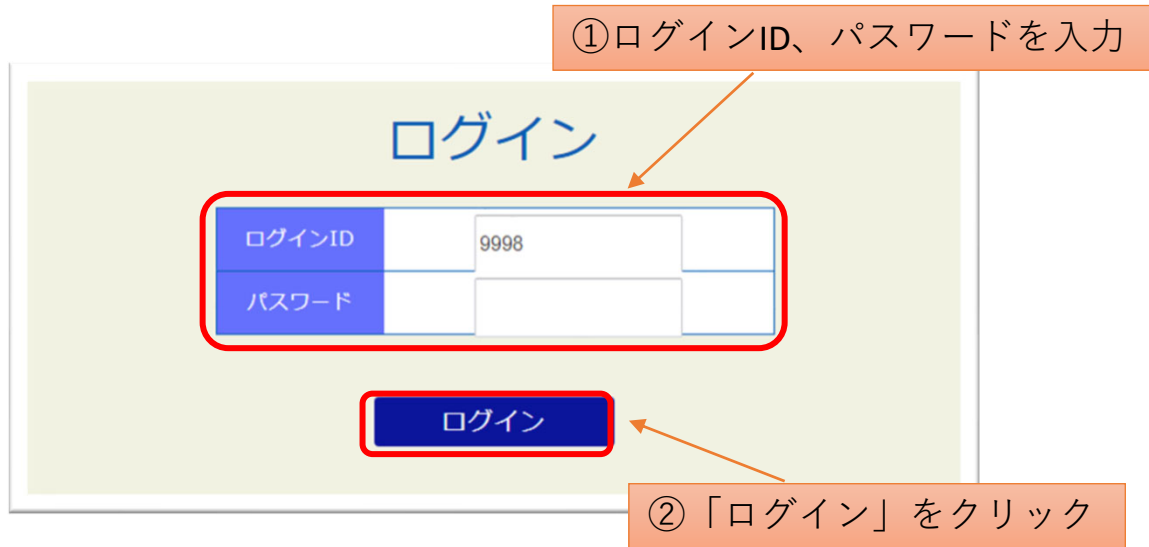
実施期日 ☐ 受付中のみ

ここをクリック

研修名	実施期日	募集 人数	県	公社 公園	市 町 村	コン サル	建 設 業	レベル	受講料	受付状況	研修申込
テスト研修 2	2021/09/22	40	-	-	-	-	-	新人： 初級	0 円	受付中	申込

(4) ログインIDとパスワードを入力してログインする。

①ログインID、パスワードを入力



The login screen features a light green background with the word 'ログイン' (Login) in blue at the top. Below it is a red-bordered box containing two input fields: 'ログインID' (Login ID) with the value '9998' and 'パスワード' (Password). Below this box is a blue button labeled 'ログイン' (Login). An orange arrow points from the text '①ログインID、パスワードを入力' to the input fields, and another orange arrow points from the text '②「ログイン」をクリック' to the login button.

②「ログイン」をクリック

(5) 受講者名、社員・役員・行政、年齢、現場経験年数、対象外の方の受講理由を入力する。

受講者エントリー一覧

受講者氏名（例：建設太郎）	社員・役員・行政 （選択して下さい）	年齢	現場経験 年数	対象外の方の受講理由	本人確認証明書
必須 建設太郎	必須 社員	必須 35	必須 8		必須 アップロード

※姓と名の間にスペースは入れないでください。

+ 追加

確認

※ 注 意 事 項 等

- ・ 受講者氏名を入力する際、姓と名の間にスペースを入れないでください。
- ・ 受講対象者以外の方が申込をする場合は、「対象外の方の受講理由」欄に理由をご記入ください。
（例：復習のため、CPDS単位取得のため）
- ・ 「追加」ボタンを押して入力する段を増やすと、1度に複数の方の申込が可能です。

(6) 本人確認証明書をアップロードする
①「アップロード」をクリックする。

受講者エントリー一覧

受講者氏名 (例: 建設太郎)	社員・役員・行政 (選択して下さい)	年齢	現場経験 年数	対象外の方の受講理由	本人確認証明書
必須 建設太郎	必須 社員	必須 35	必須 8		必須 アップロード
必須 建設花子	必須 役員	必須 45	必須 15		必須 アップロード

※姓と名の欄にスペースは入れないでください。

+ 追加

②「アップロード」をクリック

※本人確認証明書をアップロードしないと、申込ができません。必ずアップロードしてください。

②アップロードするPDFファイルを選択する。



ファイルを選択すると、ボタンが緑色に変わり、「済」と表示されます。

受講者エントリー一覧

受講者氏名 (例: 建設太郎)	社員・役員・行政 (選択して下さい)	年齢	現場経験 年数	対象外の方の受講理由	本人確認証明書
必須 建設太郎	必須 社員	必須 35	必須 8		必須 済
必須 建設花子	必須 役員	必須 	必須 		必須 済

③記載内容を確認して「確認」→「申込」→「確定」をクリック

受講者エントリー一覧

受講者氏名（例：建設太郎）	社員・役員・行政 （選択して下さい）	年齢	現場経験 年数	対象外の方の受講理由	
必須 建設太郎	必須 社員	必須 35	必須 8		必須 済 確認
必須 建設花子	必須 役員	必須 45	必須 15		必須 済 確認

①「確認」をクリック

受講者エントリー一覧

受講者氏名（例：建設太郎）	社員・役員・行政 （選択して下さい）	年齢	現場経験 年数	対象外の方の受講理由	本人確認証明書
建設太郎	社員	35	8		済 x
建設花子	役員	45	15		済 x

※姓と名の欄にスペースは入れないでください。

+ 追加

※受講対象者以外の方が申込みする場合は、「対象外の方の受講理由」欄に理由をご記入ください。
※会社で受講される場合は、本人確認証明書を下記のとおりアップロードしてください。
(1) CPDSの学習履歴の登録を希望される方・・・CPDS技術者証（PDF）
(2) 建築士会CPDの学習履歴の登録を希望される方・・・建築士会CPDカード（PDF）
(3) 上記 (1) (2) 以外の方・・・免許証等の写真付証明書（PDF）

②「申込」をクリック

受講者の内容に間違いが無ければ、申込を押してください。

戻る 申込

受講者エントリー一覧

建設太郎	社員	35	8	--	本人確認証明書【建設太郎】.pdf
建設花子	役員	45	15	--	本人確認証明書【建設太郎】.pdf

受講者エントリー数2人

受講者の内容に間違いが無ければ、確定を押して申込を完了

③「確定」をクリック

戻る 確定

※申込が完了したら、「研修申込完了のお知らせ」メールが会社のメールアドレスに送信されますので、ご確認ください。

本人確認証明書の確認・変更の手順 《会社で受講する場合》

申込時にアップロードした「本人確認証明書」は、各社のマイページで確認・変更することができます。

- (1) センターのホームページにアクセスする。

<https://www.tctcplaza.or.jp/>

- (2) 研修／マイページをクリック



- (3) ログインIDとパスワードを入力してログインする。

A screenshot of the login page. The title is 'ログイン' (Login). There are two input fields: 'ログインID' (Login ID) with the value '9998' and 'パスワード' (Password). Both fields are highlighted with a red box. Below the fields is a blue button labeled 'ログイン' (Login), also highlighted with a red box. To the right of the login form, there is an orange box with the text '①ログインID、パスワードを入力' (1. Enter login ID and password). Below the login button, there is another orange box with the text '②「ログイン」をクリック' (2. Click 'Login').

(4) 「申込中 研修一覧」をクリックする。



(5) 該当の研修のボタンをクリックする。

①申込者や証明書を確認する場合→「表示」

②受講者や証明書を変更する場合→「編集」

研修名	実施期日	受講者変更 期限日	キャンセル期日	受講者一覧		
テストaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa研修	2021/08/03	2021/08/03	2021/08/03	表示	追加	
テストaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa研修	2021/08/03	2021/08/03	2021/08/03	表示	編集	追加
テストaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa研修	2021/08/03	2021/08/03	2021/08/03	表示	編集	追加
テストaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa研修	2021/08/03	2021/08/03	2021/08/03	表示	追加	
テスト研修 2	2021/09/22	2021/08/02	2021/08/30	表示	編集	追加
テスト研修 1	2022/08/01	2022/08/01	2022/08/01	表示	編集	追加

①申込中の受講者の情報や、アップロード済の本人確認証明書を確認する場合

②受講者の変更や入力内容の修正、キャンセル処理、本人確認証明書の変更を行う場合

①「表示」をクリックした場合

テスト研修2

受講者名	役職	年齢	現場 経験年数	対象外の方の受講理 由	本人確認証明書	申込状況
うううう	役員	40	1	--	ダウンロード	申込済
てすと1	社員	25	2	あああ	ダウンロード	申込済

申込中の受講者の情報を確認
できます。

アップロードした本人確認証
明書をダウンロードして確認
することができます。

②「編集」をクリックした場合

テスト研修1

受講者名	役職	年齢	現場 経験年数	対象外の方の受講理 由	本人確認証明書	申込状況
建設太郎	社員	10	10	10	変更	申込済
建設花子	行政	70	22		変更	申込済
建設次郎	行政	55	20	受講理由1	変更	申込済 キャンセル

戻る 更新

受講者の変更や記入内容
の修正を行うことができ
ます。
**受講者の変更は、研修開
催日の2営業日前まで
行ってください。**

本人確認証明書をアップ
ロード（変更）できます。
**受講者を変更した場合は、
必ず本人確認証明書も変
更してください。**

受講者のキャンセルが
できます。
**キャンセル期限は研修
開催日の7営業日前で
す。**

Web セミナー方式の研修について(会社で受講する場合)

1 受講方法等

- Web セミナーは、「Zoom アプリ」を使用して行います。
- Web セミナー方式では、インターネット環境が必要です。インターネット通信料は御社でご負担ください。受講中は双方向で映像・音声データのやり取りを行い、インターネットを通じて大容量の packet 通信を繰り返すため、packet 定額サービス等の利用をお勧めします。
- カメラ及びマイクが付いたパソコン又はタブレット端末等(10 インチ以上)を一人一台ずつ用意してください。
- Web セミナー受講に必要なアクセス用 URL、ログイン ID、パスワード、Zoom へのアクセスやシステムの使用方法については、研修開催日の 6 営業日前にメールでお知らせします。
- 研修テキストは上記のメールにリンクを貼り付けますので、ダウンロードして必要な方は印刷してください。
- Web セミナー方式では、Zoom の音声又はチャット機能により、講師と直接質疑等のやり取りが可能です。
- 加算研修の確認テストは、講義終了後にチャットで URL を送信しますので、Web 上で回答してください。

2 受講確認の方法について

- 本人確認のため、受講申込時に顔写真付きの証明書(CPDS 技術者証、免許証等)のコピー(PDF)を、当センターホームページの申込画面上でアップロードしてください。
(CPDS の学習履歴の登録を希望される方は、CPDS 技術者証の写しをアップロードしてください。)
- Zoom の画面上で本人確認を行いますので、カメラ機能は常時 ON にしてください。故意にカメラを OFF にした場合は、研修の修了を認めないこととします。
- 加算研修及び CPDS の申請に必要なため、参加者全員分のスクリーンショットを撮影します。
(開始直後、昼前、昼後、終了前付近のスクリーンショットを撮影します。)

3 CPD(継続学習)の取扱いについて

(1) CPDS(全国土木施工管理技士会連合会)

- 学習履歴は、当センターが代行申請します。(1時間当たり1ユニット)
- 個人 ID からの学習履歴の申請はできません。
- 受講確認のため、申込時に CPDS 技術者証のコピーをアップロードしてください。
- プログラム名に「オンラインセミナー」と記載されているプログラムに履歴を登録します。

(2) 建設コンサルタンツ協会 CPD

- 単位等の取扱いについては、建設コンサルタンツ協会 CPD 事務局へ直接問い合わせしてください。

(3) 建築士会 CPD

- 学習履歴は当センターが代行申請します。(1時間あたり1単位)
- 受講確認のため、申込時に顔写真付の証明書とともに建築士会 CPD カードをアップロードしてください。

4 トラブル発生時の対応について

- Web セミナー中、何らかのトラブルにより講義が受信できない場合は、建設技術センターへ電話連絡してください。電話番号 080-8241-3336(研修ホスト直通)、0858-26-6065(総務研修課 藤井、前田)